

下関市 男女共同参画シタ— 11

★★第4次下関市男女共同参画基本計画がスタートしました★★

市では、「第3次下関市男女共同参画基本計画」に沿って様々な取組を行ってきました。令和2年度で第3次計画の計画期間が終了することから、令和3年2月に**令和3年度から令和7年度まで**を計画期間とした「**第4次下関市男女共同参画計画**」を策定しました。

今後も、本計画を推進することで、本市の男女共同参画社会の実現を目指します。

「**第4次下関市男女共同参画計画**」の目標等について次ページでご紹介します。



女性に関わる問題について、ご相談下さい。

コロナ禍により、生活や仕事、DV被害、子育てや介護に関する女性の困窮や不安が深刻な状況となっております。

～ いろいろな不安抱えていませんか。 ～

女性に関わるいろいろな問題について、婦人相談員が面接や電話によりご相談に応じます。ひとりで悩まずに、まずはご相談下さい。(相談無料 秘密厳守)

《相談内容例》

- ・配偶者、恋人からの暴力(DV、デートDV)
- ・男女関係の悩み(結婚、離婚など)
- ・心や身体に関する悩み
- ・その他、女性が抱える様々な悩み



《相談先》 市民相談所内(市役所本庁舎西棟5階)

《電話》 083-231-1156

《時間》 平日の午前9時～午後4時

下関市 女性人材登録制度

あなたの思い、
下関市に反映してみませんか。

下関市の福祉や環境、まちづくりに女性の
ご意見を反映するため、審議会委員等にご協力
いただける方を登録する制度です。

ぜひ、ご協力ください。

【登録者できる方】

市内に在住、在学、在勤または団体等の活動拠点がある20歳以上の女性。

【お申し込み・お問い合わせ先】

人権・男女共同参画課
TEL 083-231-7513



☆彡第4次下関市男女共同参画基本計画4つの基本目標☆彡

基本目標Ⅰ 男女共同参画意識の啓発

- 重点項目1 男女共同参画についての理解を深める啓発の推進
- 重点項目2 男女共同参画を推進する教育・学習の充実
- 重点項目3 国際社会に対する理解を深める啓発の推進



基本目標Ⅱ 社会における女性の活躍の推進
(第2次下関市女性活躍推進計画)

- 重点項目1 施策・方針決定過程における男女共同参画の推進
- 重点項目2 女性のあらゆる分野における活躍支援
- 重点項目3 働く場における男女共同参画の推進
- 重点項目4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進
- 重点項目5 男性の意識と職場環境の改革
- 重点項目6 女性活躍推進に取り組む企業への支援



基本目標Ⅲ 家庭や暮らしにおける男女共同参画の推進

- 重点項目1 家庭、地域における男女共同参画の推進
- 重点項目2 安心して生活するための支援の充実



基本目標Ⅳ 男女間の暴力を許さない社会の実現
(第3次下関市DV対策基本計画)

- 重点項目1 男女間の暴力防止に関する意識啓発の推進
- 重点項目2 相談体制の充実及び被害者の保護
- 重点項目3 被害者の自立支援
- 重点項目4 DV対策推進体制の整備

※本計画は同性のカップル間の暴力を含みます。



本計画は、男女共同参画社会基本法にうたわれている「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に誠意定、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会の形成」を基本理念としています。

この計画の本編は、市役所本庁西棟1階、総合支所、公民館、図書館。市民活動センターに設置しています。
また、市ホームページでも閲覧可能です。 [こちら](#)→



▲▽▲▽▲これまで実施したイベントについて報告します！▲▽▲▽▲

令和2年度下関市男女共同参画講座
「専業主婦が起業したとき」 を開催しました



令和3年2月21日（日）菊川ふれあい会館「アブニール」で、2月28日（日）川棚公民館で、NPO法人シンフォニーネット副理事長である岸田あすか氏を講師に迎え、男女共同参画講座「専業主婦が起業したとき」を開催しました。

専業主婦であった岸田氏が、障害者就労継続支援B型事業素「mimihana かふえ」を立ち上げた経緯、その後「みみはなふぁくとりー」の運営、山口県産の副原料を使用したクラフト発泡酒づくりに至るまでの実体験を話して下さいました。様々な困難に、明るく、前向きに取り組まれる岸田氏に、勇気づけられる講座でした。



2月21日 菊川ふれあい会館



2月28日 川棚公民館

受講者の声

- ❖岸田先生のアイデアと行動力（前進する気もち・力）に感心しました。発達障がい等の方々や地元をつなげて盛り上げていこうとする強い気持ちがわかりました。（50代・女性）
- ❖すばらしい体験をおきかせいただきありがとうございました。体験は説得力がありますね。（60代・女性）



☆ 男女共同参画週間 パネル展を開催しました。 ☆

毎年、6月23日～29日は男女共同参画週間となっています。今年も、男女共同参画の理解を深めるため、市役所1階エントランスにおいて男女共同参画週間パネル展を開催しました。今年の男女共同参画週間のキャッチフレーズは、「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」です。



キーワード 生理の貧困

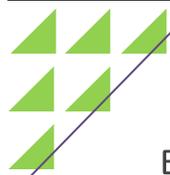
経済的な理由などから生理用品を手に入れるのが難しい女性や女の子の「生理の貧困」が社会問題として表面化しています。生理用品は女性にとって生活必需品であり、不足すれば日常生活や勉学、仕事に支障を来しかねず、健康への影響も懸念されています。



人権・男女共同参画課では、貸し出し用図書（約400冊）を市役所 本庁舎 新館4階の食堂前に備えています。身分証明書をご持参の上、ご利用ください。（貸出期間2週間以内）

ウエストがくびれた女は、男心をお見通し	竹内 久美子 著 ワック 2021年	【ジェンダー】森元首相の些細な発言（失言？）、恣意的に切り刻み、我田引水して、とんでもない差別主義者だとレッテルを貼って社会的に葬りさろうとした人たち・著者はそんな言葉狩りに狂騒する、行き過ぎたPC（ポリティカルコレクトネス）を拒み、生物学的な現実を直視するBC（バイオロジカルコレクトネス）で行こうということを本書で提唱しています。「動物にタブーはない」からです。
産めないけれど育てたい。不妊からの特別養子縁組へ	池田 麻里奈 池田 紀行 著 KADOKAWA 2020年	【育児】養子を迎えて「育ての親」になる。10年以上もの不妊治療、2度の流産、死産。それでも育てることをあきらめなかった夫婦が、「特別養子縁組」を決意するまでの葛藤と、ドタバタだけれど、幸せな子育てを夫婦それぞれの視点から綴ったエッセイ。
男の子になりたかった女の子になりたかった女の子	松田 青子 著 中央公論新社 2021年	【ジェンダー】コロナ禍で子供を連れて逃げていった母親、つねに真っ赤なアイシャドウをつけて働く中年女性、いつまでも”身を固めない”娘の隠れた才能・・・あなたを救う非常口はここ。はりつめた毎日に魔法をかける短編集。
君は世界でただひとり～おやこで話すはじめてのLGBTs	鶴岡 そらやす 著 日本能率協会マネジメントセンター 2020年	【ジェンダー】男の子だから？女の子だから？それともあなただから？大人も子どもも知っておきたい大切なこと。一人ひとりが違うこの世界を、世界に一人しかいない君が、自分らしさを大切にしながら生きていくために知っておきたいこと。
子どもを守る言葉「同意」って何？	レイチェル・ブライアン 著 集英社 2020年	【育児】「今日学校で突然、男の子にキスされた。嫌だと言えなかった」・・・小学生の娘に言われた母親がこの絵本を作りました。フェアで安心な関係を育むための基本の知識が学べる一冊。
しがらみを捨ててこれからを楽しむ 人生のやめどき	樋口 恵子 上野 千鶴子 著 マガジンハウス 2020年	【その他】やめどきは、始まりのときをふりかえることでもある。丁々発止、笑いに涙、樋口おネエさまと16歳年下の赤髪の子コちゃんの二人が、人生にまつわるあらゆる「やめどき」について語り合いました。意見を同じくするところ、まったく噛み合わないところ…それぞれに生きるヒントが隠されています。
女性差別はどう作られてきたか	中村 敏子 著 集英社 2021年	【ジェンダー】医科大学での女性受験生一律減点問題など、現代においても、「女性である」ことによる差別はなくなる。それどころか日本はジェンダーギャップ指数で世界の下位にいる。なぜ、女性を不当に差別する社会は生まれてしまったのか。西洋と日本で異なるその背景を「家父長制」という概念により読み解く。
妻に言えない夫の本音 仕事と子育てをめぐる葛藤の正体	朝日新聞「父親のモヤモヤ」取材班 朝日新聞出版 2020年	【男性・女性】仕事と育児の両立に悪戦苦闘する、父親たちが語る真実とは。今までと変わらない仕事上の期待を担いながら、いざ育児に関われば、奇異の目や過剰な称賛にさらされ、ことあるごとに「お母さんは？」と聞かれる…。「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の意識がなかなかなくならない日本で、芽生えつつある変化の兆しを、少しずつ語られ始めた「父親のモヤモヤ」を手掛かりに追った。
働き方改革で伸びる女性つぶれる女性	東谷 由香 著 日本経済新聞出版 2020年	【労働】「どうせ私なんかには無理」と勝手に決めつけて、自分で自分をあきらめてしまうのは「もったいない」。自分の長所に気づき、能力を活かして、もっと充実した幸せな人生を送るために、やりがいのある仕事を持つことの大切さ、どうすればそれができるのかを「働き方改革」の上手な活用と実践をヒントに具体的に解説。
本当はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ	コウ ケンテツ 著 びあ 2020年	【ワーク・ライフ・バランス】仕事として、家事として、趣味として、長きにわたって料理と向き合ってきたコウケンテツ氏が、毎日「おうちごはん」を作っている人の気持ちを少しでも軽くしたい、気持ちに寄り添いたい、作る人が元気になるような本を作りたいという気持ちから生まれた一冊。
マンガでわかるLGBTQ+	パレットーク 著 講談社 2021年	【ジェンダー】本書は、いまさら聞けない「LGBTQ+」の基本から、最新の情報、お互いに行き届くことまで、19の体験談を含む22のマンガを読みながら楽しく学べる作品です。

この参画レターは、下関市立公民館をはじめとする社会教育施設（生涯学習プラザ・市立図書館等）に配布しています。



【発行】 下関市役所 本庁舎西棟4階 人権・男女共同参画課
〒750 - 8521 下関市南部町1番1号
TEL 083 -231 -7513 FAX 083 - 231 -1437
E-MAIL smjinken@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

